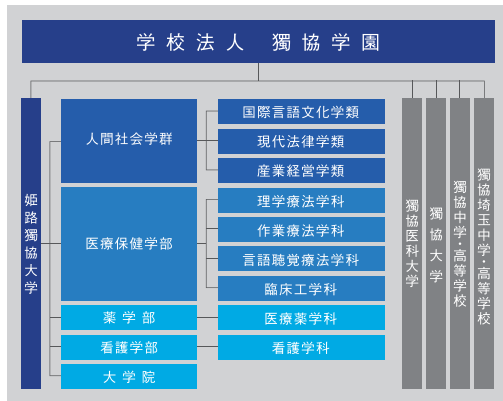
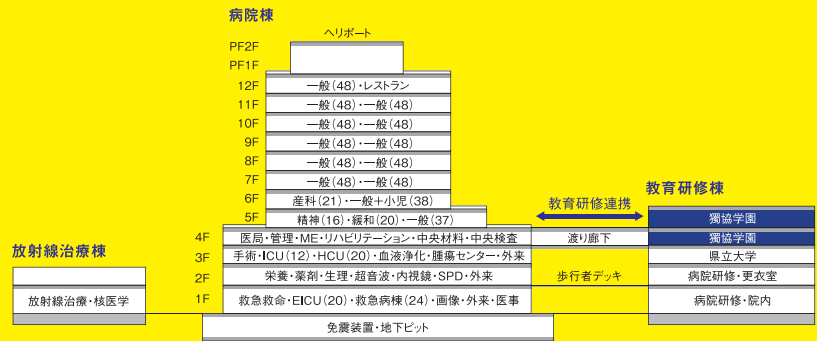
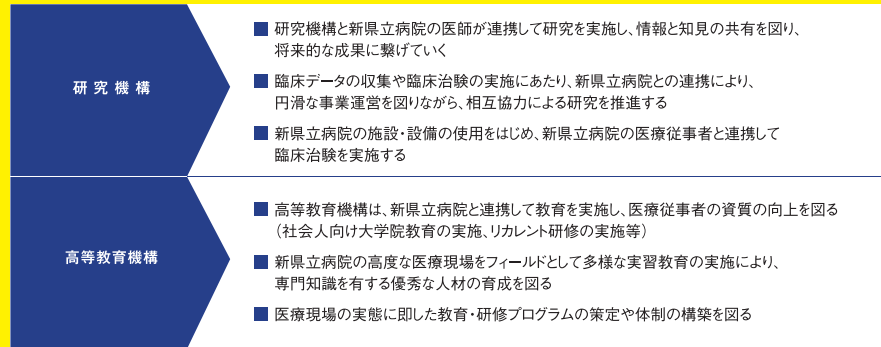


医療系高等教育・研究機構と新県立病院との連携による効果

隣接する敷地内で、研究・教育面での人的交流が活発に行われることで、医療系高等教育・研究機構、新県立病院双方で、さまざまな効果を生み出すと期待されています。



Access 姫路獨協大学へのアクセス

電車・バス利用の場合

JR姫路駅・山陽電鉄姫路駅前から神姫バス「姫路獨協大学行き」又は、「姫路獨協大学経由大高台行き」に乗り「姫路獨協大学」で下車。所要時間約20分。

お車利用の場合

- 中国自動車道：福崎ICで播但連絡道路に乗り換え、砥堀で降り、312号線を姫路市街方面へ
- 播但連絡道路：花田ICで降り、372号線を姫路市街方面へ
- 姫路バイパス：姫路東ランプで降り、312号線で北へ

お問い合わせ 〒670-8524 兵庫県姫路市上大野7-2-1
TEL.079-223-2211(代表) FAX.079-285-0352

<http://www.himeji-du.ac.jp>

※当冊子の掲載情報は2018年8月時点のものです。

獨協学園 医療系高等教育・研究機構 開設



2022年姫路駅前 新県立病院 開院

県立はりま姫路総合医療センター(仮称)



獨協学園 医療系高等教育・研究機構

開設案内

 姫路獨協大学

動く。始まる。

いよいよ、中・西播磨地域の一大医療拠点となるビッグプロジェクトが始動 医療人への将来に道筋をつける獨協学園の医療系高等教育・研究機構が誕生

現在、大規模な整備が進められているJR姫路駅周辺。2022年には、新しい兵庫県立病院(仮称:県立はりま姫路総合医療センター)が「キャスト21イベントゾーン」に開院するのに伴い、隣接して獨協学園の新たな高等教育・研究機構が誕生します。
かつてない医療連携プロジェクトが、ここ播磨の地でスタートします。



医療系高等教育・研究機構の設立主旨

姫路市を中心とする中・西播磨地域では、少子高齢化による患者数の増加や医師・看護師不足といった課題を抱えています。こうした地域の現状を踏まえ、獨協学園では新県立病院と密に連携して医療教育や臨床研究を行う医療系高等教育・研究機構を設立。医療レベルの向上や人材育成などに貢献していきます。

開設までのスケジュール

2017年	地域医療連携推進法人の設立・運営構想がスタート 獨協学園、兵庫県、姫路市の三者で整備に関する協定締結
2017年・2018年	基本設計・実施設計の履行
2019年・2021年	建築工事の実施
2022年	県立はりま姫路総合医療センター(仮称)開院 学校法人獨協学園医療系高等教育・研究機構開設

新県立病院と医療系高等教育・研究機構の全体像

学校法人獨協学園、兵庫県、姫路市との
連携・協働イメージ

学校法人獨協学園

医療系高等教育・研究機構の設置・運営と 新県立病院との連携・協働

臨床研究をサポートする研究機構を設置して新県立病院の診療や教育に貢献し、高等教育機構を開設することで人材育成の充実を図ります。

高等教育機構:獨協医科大学大学院研究科
姫路獨協大学大学院研究科
姫路獨協大学サテライトキャンパス
研究機構:消化器内視鏡研究センター
地域疫学研究センター(仮称)

兵庫県

新県立病院の整備・運営と 医療系高等教育・研究機構との連携・協働

新県立病院を開院し、獨協学園の医療系高等教育・研究機構と共に密な人的交流を実施し研究を行うことで、地域医療の質の向上に寄与します。

新県立病院:県立はりま姫路総合医療センター(仮称)

姫路市

「知と文化・産業の交流拠点」の提供

高等教育機構の振興による
医療従事者等の育成・確保
研究機構の振興による先端技術開発や
学会開催による地域経済の活性化

Message



+ Akira Terano

学校法人獨協学園
理事長
寺野 彰

Profile

東京大学医学部卒、聖隷浜松病院等の勤務を経て最高裁判所司法研修所司法修習生に。独学で弁護士資格取得。現在は獨協学園理事長と日本私立医科大学協会会長を兼任。

医療連携の中心として

740床もの規模を持つ新県立病院と連携し、医療教育の質を上げたい。同時に、病院の臨床研究をサポートすることで、地域の医療に貢献したい。獨協学園では、そんな想いから新県立病院と同区域内に高等教育・研究機構を併設することになりました。獨協学園は今回の医療連携で中心的役割を果たし、新県立病院と一体となった研究や教育を行う予定です。姫路獨協大学は、薬剤師や看護師といった医療現場に直接関わる職業のほか、医療事務・法務など、幅広い医療関連の人材育成に力を注いでいます。将来は、新県立病院で働きたい。そんな皆さんの夢をかなえるプロジェクトにご期待ください。



+ Tetsuya Nakamura

医療系高等教育・研究機構
機構長(就任予定)
中村 哲也

Profile

神戸大学医学部卒。神戸大学大学院医学研究科修了。神戸大学医学部附属病院、医療法人江尻病院等を経て獨協医科大学へ。現在、獨協医科大学教授、医療情報センター長。

高度な医療教育環境が誕生

異なる医療機関と医療系の高等教育・研究機構が強固に結びつき、共に地域医療を支える。こうした取り組みは、今までにない画期的な試みと言えるでしょう。プロジェクトでは、新県立病院を軸として、さまざまな教育・研究機構が関わって臨床研究を行うことで幅広い人的交流が生まれます。そのことで、医療レベルだけでなく医療従事者の質の向上にもつながると期待されています。それは、実習などで新県立病院の臨床現場に触れる姫路獨協大学の学生にとっても同じこと。高度な医療教育環境で学び研究することで、地域を大事にしながら広い視野を持った医療人を目指しましょう。

高等教育機構

大学院研究科とサテライトキャンパスが新たに開設 新県立病院との連携・協働で医療教育・研究を強化



2022年の新県立病院開院時には、獨協医科大学大学院姫路サテライトが開校。姫路獨協大学の文理にわたる学群・学部高学年のサテライトキャンパスや大学院研究科を開設し、医療事務・医療法務なども含めた医療に関わる幅広い研究や教育を行います。

研究機構

地域の課題に取り組むセンターを設置し 医療レベルの向上や人材確保・機器開発にも貢献



主にカプセル内視鏡など消化器内視鏡の診断治療研究や開発を行う「消化器内視鏡研究センター」、地域の医療や公衆衛生に関わる研究を行う「地域疫学研究センター(仮称)」を開設。その他、新県立病院との連携・協働が可能な新しい研究センターの設置が検討されています。

新県立病院

高度専門・急性期医療や救急医療を中心に 質の高い診療と教育研究の提供をめざす



循環器疾患医療、救命救急センター機能など、地域における高度専門・急性期医療の中核病院として発足。医療系高等教育・研究機構との連携・協働による教育、研究活動の成果を社会に還元するとともに、姫路獨協大学の学生の進路先としても期待されています。